

日本語／日本語教育研究会

第12回大会 2020年9月20日(日) オンライン開催

予稿集

大会 プログラム

2

講演 高梨 信乃 講師 関西大学

「母語話者レベルの正確さを
目指す文法」の意義

4

ポスター発表
①-1

市村 葉子

福井工業
高等専門学校

「んですけど」の指導に関する一考察
—前置き用法を中心に—

ポスター発表
①-2

真田 聡美

花園大学

リアルな模擬体験から学ぶビジネス日本語の実践
—大学生が新入社員研修を体感する—

ポスター発表
②-1

何 月琦

名古屋大学
大学院生

中国語母語話者による日本語受身文の使用実態
—学習者コーパスの分析結果から—

ポスター発表
②-2

治田 芽生

北海道大学
大学院生

文法化した「たいと思います」に関する分析
—「たいと思う」の対話上の機能の観点から—

日本語教育
教材紹介 ①

田中 祐輔

東洋大学

『上級日本語教材 日本がわかる、日本語がわかる
—ベストセラーの書評エッセイ24—』 凡人社

日本語教育
教材紹介 ②

志賀 玲子

東京経済大学

『「やさしい日本語」表現事典』 丸善出版

口頭発表 ①

鏡 耀子

東北大学
大学院生

丁寧形基調の書き言葉における普通形文末の混用
—文と文章の種類に着目して—

14

口頭発表 ②

岡 葉子
(ほか)

東京大学

「理工学系話し言葉コーパス」における
受身表現の出現傾向

22

口頭発表 ③

宮部 真由美

国立国語研究所

ナラ条件節の複文の「事実的条件文」を再考する
—文頭の「なら」の分析を手がかりに—

30

ポスターは18(金)に公開します

9:50	開会挨拶・事務連絡			
10:00～ 11:00	講演	高梨 信乃 講師	関西大学	「母語話者レベルの正確さを 目指す文法」の意義
11:10～ 11:40	ポスター発表 ①-1	市村 葉子	福井工業 高等専門学校	「んですけど」の指導に関する一考察 —前置き用法を中心に—
11:40～ 12:10	ポスター発表 ①-2	真田 聡美	花園大学	リアルな模擬体験から学ぶビジネス日本語の実践 —大学生が新入社員研修を体感する—
12:10～ 12:40	昼休み	オンライン書店 開店します！ ココ出版・くろしお出版の書籍が2割引きでご購入いただけます！		
12:40～ 13:10	ポスター発表 ②-1	何 月琦	名古屋大学 大学院生	中国語母語話者による日本語受身文の使用実態 —学習者コーパスの分析結果から—
13:10～ 13:40	ポスター発表 ②-2	治田 芽生	北海道大学 大学院生	文法化した「たいと思います」に関する分析 —「たいと思う」の対話上の機能の観点から—
	ポスター発表賞 投票			
13:50～ 14:20	日本語教育 教材紹介 ①	田中 祐輔	東洋大学	『上級日本語教材 日本がわかる、日本語がわかる —ベストセラーの書評エッセイ24—』 凡人社
14:20～ 14:50	日本語教育 教材紹介 ②	志賀 玲子	東京経済大学	『「やさしい日本語」表現事典』 丸善出版
15:00～ 15:40	口頭発表 ①	鏡 耀子	東北大学 大学院生	丁寧形基調の書き言葉における普通形文末の混用 —文と文章の種類に着目して—
15:45～ 16:25	口頭発表 ②	岡 葉子 (ほか)	東京大学	「理工学系話し言葉コーパス」における 受身表現の出現傾向
16:30～ 17:10	口頭発表 ③	宮部 真由美	国立国語研究所	ナラ条件節の複文の「事実的条件文」を再考する —文頭の「なら」の分析を手がかりに—
17:15	ポスター発表賞 発表・閉会挨拶			

参加申し込み方法 以下のグーグルフォームに必要情報をご記入ください。

<https://forms.gle/TaxZkz8vhaUSYDCK8>

参加費無料

当日の参加方法：申し込みをされた方に、9月18日（金）²までに、Zoomのパスコードをメールにて、ご連絡します。

昼休み企画

12:10～12:40

Zoom画面内で オンライン書店を開店します！

ココ出版・くろしお出版の書籍が
2割引きでご購入いただけます！

■ココ出版 全書籍 割引適用 9月30日(水)まで

<https://cocopb.com/nichinichi2020/nichinichi2020.html>



研究会誌

『日本語／日本語教育研究』

1～10号

会員価格・学会価格

3200円+税 → **2500円！**

くろしお出版の書籍購入方法は、当日お知らせします。

「母語話者レベルの正確さを目指す文法」の意義

高梨信乃^{たかなししの}（関西大学）

1. はじめに

◆日本語学習者の多様化

→必要な日本語能力・習熟度も学習目的によって大きく異なる。

◆文法の正確さ（単に誤用でないだけでなく、最適な形式を選ぶといったことまで含む）

：全般的に、あまり重視されない傾向

・誤解されたり相手の感情を害したりする恐れのない誤りはあまり問題にしない（野田 2005）

・多文化共生社会の実現にむけて、母語話者の側に学習者の誤りなどを柔軟に受け入れる姿勢が必要（庵 2016）

→このような考え方は非常に重要である。

◆しかし、一方、多様な学習者の中には、高度な日本語能力を要求される人々もいる。

特に、日本語の教師・研究者になることを目指す学習者は、産出（話す・書く）に関して、母語話者レベルの正確さを身につけたいと考えるのがむしろ普通ではないか。

→「母語話者レベルの正確さ」に到達するために、何が欠けているのか、何が必要なのかを問題にし、追求する文法

：「母語話者レベルの正確さを目指す文法」

2. 「母語話者レベルの正確さを目指す文法」は重要である

◆講演者が「母語話者レベルの正確さを目指す文法」が重要だと考える理由

理由① 母語話者レベルの正確さを目指す学習者をサポートするため

理由② 「母語話者レベルの正確さを目指す文法」は日本語教育文法を整備する上で意義があるから

理由③ 「母語話者レベルの正確さを目指す文法」は（教育文法に限らず）文法研究の上でも意義があるから

以下、3で理由①、4で理由②、5で理由③について述べる。

なお、ここでは特に「書く」技能における「母語話者レベルの正確さ」について取り上げる。アカデミック・ライティング（AW）に関わることが中心になるが、それ以外の「書く」技能に関することにも触れる。

※ 以下の用例のうち出典の記載のないものは、講演者が出会った、上級学習者による産出例である（一部を改変）。

3. 母語話者レベルの正確さを目指す学習者をサポートするために

3.1 上級学習者はどんな誤用をしているか

◇高梨（2013）

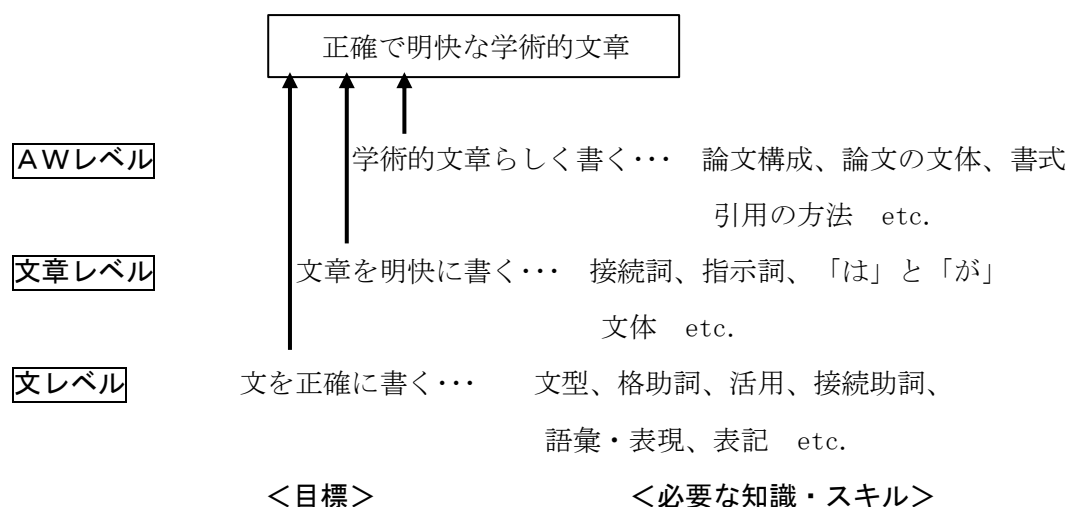


図1 AWに必要な知識・スキル（高梨 2013）

◇高梨・齊藤・朴・太田・庵（2017）

上級学習者3名（N1合格）の修士論文草稿に見られる誤用を調査。

- ・3名を合わせた誤用率は0.18（100文中に18箇所の割合）。
- ・誤用の93%が3級以下の文法項目に関する誤用。

表1 3名の誤用の旧日本語能力試験の級による内訳（高梨ほか 2017）

	1 級	2 級	3 級以下	計
学習者 A	0 (0%)	11 (16.2%)	57 (83.8%)	68 (100%)
学習者 B	0 (0%)	5 (3.8%)	127 (96.2%)	132 (100%)
学習者 C	0 (0%)	2 (3.7%)	52 (96.3%)	54 (100%)
計	0 (0%)	18 (7.1%)	236 (92.9%)	254 (100%)

表2 3名の誤用のタイプと文法カテゴリ（高梨ほか 2017）

	誤選択	余剰	脱落	計
助詞	90	15	19	124
ヴォイス	4	18	5	27
アスペクト	5	10	8	23
文末詞	6	1	4	11
複文	16	0	0	16
その他	28	13	12	53
計	149	57	48	254

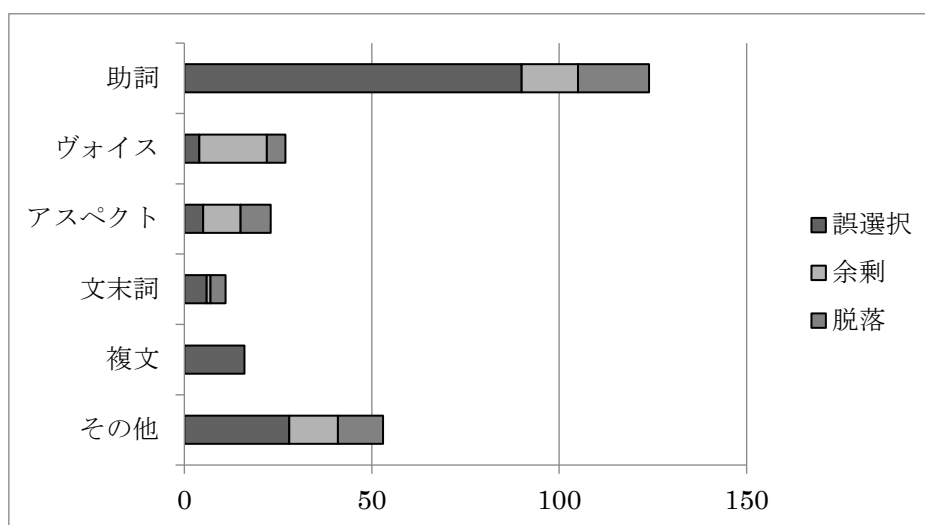


図2 3名の誤用のタイプと文法カテゴリ (高梨ほか 2017)

3.2 上級学習者への文法指導

◆上級学習者の文法の問題にはいくつかのタイプがあると思われる。

- あ) ピンポイント的な指導がしやすいこと
- い) ピンポイント的な指導がしにくいこと
- う) 指導があまり行われていないと思われること → 「文法指導の隙間」

◆あ) ピンポイント的な指導がしやすいこと

…経験・記録の「ている」

: 多くの教科書において指導されていない用法 (高梨 2014)

- (1) 先行研究に*指摘された (←○指摘されている) ように、〈形式 X〉における動作の受け手は普通話し手であるため、省略されるのが普通である。
- (2) 【コーパス調査の結果の説明】 全体的に見ると話し言葉において〈形式 X〉が主に依頼に*使われる (←○使われている) と言える。
- (3) 「知恵袋」における用例を「質問・回答」に分けると、質問のほうに頻繁に*現れる (←○現れている)。
- (4) 『みんなの日本語』と『新編標準日本語』では、〈形式 X〉は〈形式 Y〉と一緒に*取り上げられた (←○取り上げられている)。
- (5) 『新日』における〈形式 X〉〈形式 Y〉の説明に問題があることがわかる。特に〈形式 X〉に関する説明は相手にある行動を勧めることしか述べておらず、……〈忠告〉になりうるケースなどについて、全く*触れなかった (←○触れていない)。

◆表面的あるいは単純に一般化された説明では、誤解や新たな誤用を生む可能性がある。

(6) 以上の学習支援の内容をまとめると表 12 のように*なっている (←○なる)。

(高梨ほか 2017)

(7) 結果は表 3 のように*示している (←○示す)。(高梨ほか 2017)

◇庵・清水 (2016, p.41)

「歴史的な記述や引用の場合」

・論文やレポートで他人の説を引用するときには普通、「～している」が使われる。これは、引用した説が出ている論文などが書かれた時点（過去）より、それが存在する時点（現在）のほうが{重視される・軽視される}ためである。

◇小森・三井 (2016, p.80)

「過去と現在のつながりを示す」

参考資料の引用や図を提示する

書き手の判断や意見の根拠を示すために参考資料を引用したり、図を提示したりする場合、テイル形を使います。参考資料や図が書かれたのは過去ですが、書かれた記録が現在まで存在し続けているため、テイル形が使われるのです。

◆い) ピンポイント的な指導がしにくいこと

…「進行中」で述べるのか述べないのか

(8) 続いて第 5 節では調査地で*行われる (←○行われている) 学習支援の内容を述べてから学習支援の実態を分析する。(高梨ほか 2017)

(9) 人が立って話すとき、相手と丁度いいと*感じている (←○感じる) 距離は文化によって微妙に違う。(高梨 2013)

(10) 人間関係を考慮した上での会話、いわば待遇コミュニケーションの産出は、教授者にとっても、学習者にとっても、扱い方において様々な困難が*伴っている (←○伴う)。

4. 上級学習者に見られる問題点の中には「文法指導の隙間」を示すものがある

◇高梨 (2013) 上級学習者のテイル形使用にみられる問題点

高梨 (2014) 教科書の中で「無意識的に」提出されているテイル形

◆「文法指導の隙間」

教授者側（教材作成者・教師）が気づいていない／見落としがちなことから

4.1 文の首尾の一貫性

◇松岡・岡本 (2015)

「初級レベルの呼応表現の誤りの特定、訂正は中・上級者にとっても容易ではない。」

◆首尾の一貫性に関してよく取り上げられるもの

- ・名詞述語文「[名詞]は～ことである／ものである」（小口 2017、砂川 2019 など）
- ・理由述べ「なぜなら～からである」、定義「～とは～のことである」など
(石黒・筒井 2009、小森・三井 2016 など)

このほかにも、注意すべきものがあるのではないかな。

「～は」「～には」「～では」

- (11) 先行研究 A (2018) *は (←○では) 「……」と指摘されている。
- (12) 先行研究 A の分類*は (←○では)、評価・意見などに関する発話は一括りにされている。
- (13) 〈形式 X〉の誤用について言及した研究*は (←○には)、先行研究 A (1988) と先行研究 B (1992) がある。
- (14) 本論文*では (←○は) 全 7 章からなっている。

➤ 「～が」「～に」「～で」と、主題化された「～は」「～には」「～では」が十分結びつけられてないのではないかな。

複合格助詞+は

- (15) 一つ目の問題点*としては (←○は) 「生活言語」と「学習言語」の区別に対する理解が現場の教員に欠けている点である。(高梨ほか 2017)
- (16) 今後の課題*として (←○としては)、コーパス調査では検討することが難しい程度副詞の尺度を明らかにしたい。
- (17) このタイプの誤用*について (←○については)、おそらく母語の負の転移が一つの要因だと思われる。
- (18) さらに、前接形式*について (←○については)、〈形式 A〉が前接する場合は多い。
- (19) また、「意見表明」のストラテジー*において (←○においては)、評価という項目は頻繁に出現しており……

➤ 従来、個々の複合格助詞の意味用法や相互の違いについては詳しく扱われている(中西・庵 2010 など)。一方、「は」が後接した場合についてはほとんど注目されていないのではないかな。

4.2 対比の「は」

- (20) 『総合日語』以外の教科書は「依頼」と「指示」に関する説明*が(←○は)なされているが、「勧め」に関する説明*が(←○は)なされていない。
- (21) 本論文では、先行研究 A (2005) が指摘している……というニュアンス*を(←○は)認めるが、……という主張*に(←○には)反対する。
- (22) J P の用例*に(←○には)〈形式 X〉が 10 件あるが、C N *に(←○には)1 件もない。
- (23) 場面別にみると、「雑談」*において(←○においては)〈機能 X〉が 4 割以上を占めている。一方、「雑談以外」*において(←○においては)3 機能が〈機能 X〉〈機能 Y〉〈機能 Z〉の順に多く出現している。
- (24) 先行研究 A (1992) では〈形式 X〉の誤用を中心に論を展開しているが、教育現場にどう生かされるか*について(←○については)言及していない。
- (25) 現行の教科書では〈形式 X〉を副詞として扱っているとはいえない。新出語リストに記載されない点*に関して(←○に関しては)、〈形式 Y〉も同じである。
- (26) このような応答が 10 件のみで、頻繁*に(←○には)使用されていない。

◇『みんなの日本語初級Ⅱ(第2版) 翻訳・文法解説 英語版』第27課 (p.19)

N は (contrast)

In addition to introducing a topic, は can also indicate a contrast.

- ⑮ ワインは飲みますが、ビールは飲みません。
- ⑯ きのは山が見えましたが、きょうは見えません。

◇小森・三井 (2016, p.60)

[1]対比を明確に表す「は」

「は」には、物事を対比させる機能があります。したがって、①、②のようにあるテーマについて 2 つの物事を対比させて述べたい時、「は」または「助詞+は」を使います。

対比を表す文型には、「A は～が、B は～」、「A は～のに対して、B は～」があります。

- ① 近年、温暖化対策についての議論が各国でなされているが、先進国と途上国の間で、主張が一致していない。先進国には、積極的に温暖化対策を進めようとしている国が多いのに対して、途上国には、経済発展のほうが先決であるとする国が多いのである。

◇野田 (1985, p.59)

35 ①佐藤さんは紅茶は好きだが、コーヒーはきらいだ。

②この機械は使い方は簡単ですが、よく故障します。

35-1 「佐藤さんは紅茶が好きだ。」と「佐藤さんはコーヒーがきらいだ。」のように対比的な二つの文を「が」や「けれども」でつなぐと、「紅茶が」「コーヒーが」の「が」を「は」にかえなければならなくなる。

35-2 「この機械は使い方が簡単です。」と「この機械はよく故障します。」のように、構造は違うが意味が対比的な二つの文を「が」や「けれども」でつないだ場合も、「使い方が」の「が」を「は」にかえなければならない。

➤ 対比の「は」が必須になる場合についての指導がもっと必要ではないか。

4.3 複文「～し（て）、～」と「～と、～」

(27) 証拠性モダリティの使用状況を*整理すると (←○整理し（て）)、表2に示した。
(高梨ほか 2017)

(28) 先行研究 A (2010) における発話意図の分類に*照らし (←○照らすと)、収集した用例に「陳述要求」といった発話意図が見られた。

◆ 「[動作]し、[動作]」と「[動作]と、[出来事]」の使い分け

◇ 『文化初級日本語Ⅰテキスト 改訂版』第9課 (p. 113)

練習 e 絵を見て例のように言いましょう。

「キャッシュカードを入れる」「暗証番号を押す」「金額を押す」

→ まず、キャッシュカードを入れて、暗証番号を押します。それから、金額を押します。

◇ 『文化初級日本語Ⅱテキスト 改訂版』第25課 (p. 86)

練習 a 絵を見て例のように言いましょう。

「ボタン／押す／ドア／開く」

→ ボタンを押すと、ドアが開きます。

➤ 「～と」とほかの条件形式「～たら」「～ば」「～なら」との使い分けは注目されるが、「～し（て）」との使い分けはあまり意識されていないのではないか。

・動作と出来事の区別は、以下のような例にも関わっている。

(29) その結果を図 2*のように (←○に) まとめる。

(30) 先行研究 A (1993,1997) が提示した発話機能の分類および定義は下表*に (←○のように) *まとめる (←○まとめられる)。

4.4 「誤用をしない」から「より適切な表現」へ

- ◆「母語話者レベルの正確さ」には、誤用をしないだけでなく、表現したい内容や場面にもっとも適した形式を選び、適切に用いるということも含まれる。

◇高梨（2018）

「励ましの手紙」における上級学習者と母語話者の行為要求表現の違いを考察。

- ・母語話者：相手への配慮に基づいて、相手にかかる負担の少ない形式を選択し、後接形式なども利用して効果的に使用している。
- ・上級学習者：そのような使用が十分できていない。

(31) 入院してでもできるところからやればいいんじゃないかな。(J)

(32) 今の内はゆっくり休んだほうがいいと思います。(C)

◇馮（2019）

書き言葉コーパスにおける上級学習者のダロウカの使用を母語話者と比較。

- ・上級学習者：問題提起のダロウカの使用が少ない。

間接的に主張を表すダロウカの使用が少ない。

主張や助言を婉曲にするためのダロウカの使用が少ない。

(33) それなのに、市民病院を閉鎖してしまったらどうなるのだろうか。(中略) 多くの人が町を離れ、別の医療が受けられる町へうつっていくだろうということは容易に予想できる。(J)

(34) 閉鎖されると、近隣の住民たちが産婦人科とリハビリセンターに通う場合は、隣区の病院に行かざるを得ないことになってしまう。(C)

4.5 まとめ

- ◆上級学習者に見られる問題点、特に、い・う)のタイプの問題点を考察すること

→・理解レベルのものにとどまらない「産出のための記述」

- ・「初級から上級までを見据えた形での新しい文法シラバスの創出」(庵 2012)

5. 「母語話者レベルの正確さを目指す文法」は（教育文法に限らず）文法研究の上でも意義がある

◇高梨（2019）

〈宣言・アナウンス〉の意志表現：文章の書き手が読み手にこれから行う行為を伝える意志表現

(35) ここで、本の読み方として、「銀の匙」を例に、精読の実際について述べてみましょう。「銀の匙」は私の得た最も愛する作品であり、その作者中勘助先生は私の最も敬愛する作家です。(橋本式国語勉強法)

(36) ?私はワープロソフトを使うことで話しておきましょう。漢字は書けなくても読めて意味が分かればいいですか。漢字が手で書けるということはやはり大事なことで
すか。(作文対訳 DB)

・学習者の「しよう」の使用例はなぜ不自然に感じられるのか？

文章のジャンルに注目し、論説文の3ジャンル(研究書・教養書・実用書)に現れた
〈宣言・アナウンス〉の意志表現を比較した。

その結果、ジャンルによってよく使用される形式に違いがあることが明らかになった。
単独型の「しよう」が用いられるのは、教養書・実用書に代表される〈知識の格差を背景に書き手が強い教育的姿勢と読み手への働きかけをもって書くタイプの文章〉である。

→ 文法研究としての意義：書き言葉における意志表現の考察

◆「母語話者レベルの正確さ」を目指して、学習者に見られる問題点を考察することは、
文法研究の新たな切り口を見出すきっかけになりうる。

6. おわりに

◆「母語話者レベルの正確さを目指す文法」の意義

：日本語の教師として／研究者として／学習者として

引用教材

庵功雄・清水佳子(2016)『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—(改訂版)』スリーエーネットワーク

庵功雄・中西久実子(2010)『日本語文法演習 助詞—「は」と「が」、複合格助詞、とりたて助詞など—』スリーエーネットワーク

石黒圭・筒井千絵(2009)『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』スリーエーネットワーク

小森万里・三井久美子(2016)『レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版

スリーエーネットワーク編(2013)『みんなの日本語初級Ⅱ(第2版) 翻訳・文法解説 英語版』スリーエーネットワーク

野田尚史(1985)『セルフマスターシリーズ1 はとが』くろしお出版

文化外国語専門学校編(2013)『文化初級日本語Ⅰ テキスト 改訂版』凡人社

文化外国語専門学校編(2013)『文化初級日本語Ⅱ テキスト 改訂版』凡人社

引用文献

庵功雄(2012)「新しい文法教育のパラダイム構築のための予備的考察」『日中言語教育と日本語教育』第5号

庵功雄(2013)「Native-like ということ」『日本語教育、日本語学の「次の一手」』くろしお出版

- 庵功雄（2016）『〈やさしい日本語〉—多文化共生社会へ』岩波新書
- 小口悠紀子（2017）「初・中級教科書における名詞述語文「(抽象・形式名詞) は～ことです。」の扱い—学習者の作文に現れるねじれ文の問題から—」『日本語研究』37, 首都大学東京・東京都立大学 日本語・日本語教育研究会
- 砂川有里子（2019）「名詞述語文の習得に関わるねじれ文と「は」「が」の誤用について—学習者の縦断的な作文コーパスの分析から—」迫田久美子・野田尚史編『学習者コーパスと日本語教育』くろしお出版
- 高梨信乃（2013）「大学・大学院留学生の文章表現における文法の問題—動詞のテイル形を例に—」『神戸大学留学生センター紀要』19
- 高梨信乃（2014）「上級学習者のテイル形使用にみられる問題点—文法指導の隙間—」『日本語／日本語教育研究』5, ココ出版
- 高梨信乃（2018）「上級学習者と母語話者の行為要求表現の違い—「励ましの手紙」を例に—」『現代日本語研究』10号, 大阪大学大学院日本語学講座現代日本語学研究室
- 高梨信乃（2019）「〈宣言・アナウンス〉の意志表現—書き言葉における「しよう」を中心に—」『日本語／日本語教育研究』10, ココ出版
- 高梨信乃・齊藤美穂・朴秀娟・太田陽子・庵功雄（2017）「上級日本語学習者に見られる文法の問題—修士論文の草稿を例に—」『阪大日本語研究』29
- 野田尚史（2005）「コミュニケーションのための日本語教育文法の設計図」『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版
- 馮雁鴻（2019）「ダロウカの使用実態—学習者書き言葉コーパスを使用して—」『日本語／日本語教育研究』10, ココ出版
- 松岡知津子・岡本智美（2015）「中・上級日本語学習者による誤りの特定と訂正：初級項目を中心に」『三重大学国際交流センター紀要』10

丁寧形基調の書き言葉における普通形文末の混用

一文と文章の種類に着目して

鏡^{かがみ} 耀子^{ようこ}（東北大学大学院生）

1. はじめに

日本語の述語形式には、「です・ます」がつく丁寧形と「です・ます」がつかない普通形があり、これらは同一文章内ではどちらかに統一されることが通例とされる。しかし実際には、丁寧形が基調となっている文章に普通形の文が混用されることがある。この混用がどのような場合に起きるかということはこれまでも検討されてきたものの、未だ不明瞭な点も多い。そこで本発表では、丁寧形が基調となっている文章中に普通形の文が混用される現象を取り上げ、どのような文章においてどのような文が普通形となるのかを、文と文章の種類に着目して説明することを試みる。

2. 先行研究とその問題点

書き言葉における混用を扱ったものとして、メイナード(1991)、野田(1998)、熊谷(2001)、黒木(2006)、石黒(2006)、中村(2011)が挙げられる。

メイナード(1991)は、会話、小説、随筆のデータを用いて、「情報を後景化」する文、すなわち従属的な文が普通形になるとした。野田(1998)は、書き言葉の文を「心情文」「従属文」「事実文」「主張文」「伝達文」という5種類に分け、丁寧形基調の文章においては「心情文」「従属文」の二つが普通形になり得るとした。また石黒(2006)は「事実や報告を表す文は普通形になりやすく、判断や説明を表す文は丁寧形になりやすい」(石黒2006:44)とし、一方で中村(2011)は、問題提起及びその解答、事柄の対比、書き手の判断・意見、手順・順序を表す文が普通形になりやすいとした。

さらに、文章の構造の面から考察したものもある。熊谷(2001)は新聞投書を対象とし、丁寧形基調における普通形の混用は、筆者の論が展開される中間部に多く見られることを指摘した。黒木(2006)は、日本語母語話者が書いた小論文を対象に、段落の最初の部分に混用が見られやすいとした。

このように実例に基づいた様々な研究がなされているが、残された問題がないわけではない。まず、これらは話し言葉を書き起こしたものや新聞の投書などを対象としていることが多く、純粋な書き言葉のみを対象としたものが少ない。また、判断や意見を述べる文について、野田と石黒は丁寧形になりやすいものとしている一方で、中村は普通形になりやすいものとしており、先行研究の中で見解が分かれている。このことから、文の性質だけでは説明しきれない点があり、その文が使われている文章の性質にも着目する必要があると考える。

そこで本発表では、文学作品を除く書籍の用例を対象とすることで、純粋な書き言葉のみを扱う。また、一つ一つの文のみならず、文章の性質の違いにも焦点を当てる。

3. 調査方法

本発表では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)の「出版・書籍」コーパスを対象とする。短単位検索で語彙素を「です」、前後の語数を500語として検索を行い、丁寧形基調の文章中に普通形の文が混用されている例を目視で抽出した。コアデータは全て分析対象とし、非コアデータは「文学」「分類なし」を除いた九つのジャンルから、ランダムサンプリングによって無作為に選んだ丁寧形基調の10作品を分析対象とした¹。その結果、115作品から計600例の混用例が集まった。

これらについて、まず普通形となっていた文を性質ごとに分類する。その後、収集した115作品を、各作品の延べ語数に占める普通形の文の割合の高いものから順に見る。そしてどの程度普通形の文が使われているか、どのような内容の文章であるかという二つの観点から、文章を分類する。このように見ることで、どのような文章においてどのような文が普通形となるのかを明らかにすることができると考える。

4. 文と文章の種類

4.1. 文の七つの種類

野田(1998)は、文章・談話を構成する文を「心情文」「従属文」「事実文」「主張文」「伝達文」の五つに分類した。本発表ではこれを基に、普通形となっていた文を分類する。野田の分類のうち「伝達文」は、普通形の例が見られなかったため除外する²。また、より詳細に考察するため「問題提起文」「提示文」「倒置文」の三つを新たに加え、「心情文」「従属文」「事実文」「主張文」「問題提起文」「提示文」「倒置文」という7種類を設ける。

心情文とは、相手を意識せずに自分の心情を吐露する文である。以下に例を示す。

- (1) 私は、これは医療なのだろうかと首を傾げつつ、夜の病院玄関で彼女たちを見送ります。
「今度は飲みましょうね」これが実現したことは残念ながら、ない。

(PB14_00016, 『ADHDの明日に向かって』)

(1)は「実現したことがないことが残念だ」という心情を吐露する文である。このような文は相手に対する伝達意識がないため、普通形になることがある。ただし、丁寧形基調の文章においては、心情文が普通形になるケースはごくわずかにしか見られなかった。

従属文とは、内容的に他の文に従属している文である。このような文は、メイナード(1991)や野田(1998)をはじめとした先行研究においても、普通形になりやすいものとして取り上げられている。本発表では、直後に「これ」「こんな」などのような指示詞が見られる文に従属文とみなす。例として(2)のようなものがある。

- (2) 亡くなった先祖を思い出して、言葉をかけてあげる。そして、先祖の霊がやすらげるようにと供養と感謝の気持ちを持つ。 そういう心がたいせつです。

(PB11_00021, 『霊能者』)

¹ 対話形式の文章は話し言葉的な性格が見られることが多いため、対象から除外した。「文学」ジャンルのものを除いたことも同様の理由による。

² 野田(1998)は文章・談話の構造を明らかにするために全ての文を分類しているが、本発表は普通形の文の現れ方を見るのが目的であるため、普通形になり得る文のみを分類している。

(2) では、「たいせつ」であることの内容が普通形の文によって示されており、「そう」という指示詞を受けている。普通形の文のうち最も多く見られるのがこの従属文であるため、先行研究の指摘の通り普通形になりやすいものと考えられる。

事実文は、客観的な事実を述べる文である。例として (3) のようなものがある。

(3) ヨットというのは実は命懸けのスポーツでした。しかも、当時は冬場のウエットスーツもないし、今よりずっと危険なスポーツだった。 (PB33_00032, 『教育再生！』)

(3) では、「ウエットスーツがなかったため危険だった」という過去の事態が述べられている。これは筆者個人の意見というより、多くの人が認める事実といえる。今回の調査では、事実文は普通形の文のうち比較的多く見られた。

主張文は、判断や意見といった筆者の主張を述べる文である。以下に例を示す。

(4) また、最近音楽や体育にまでペーパーテストが実施されていますが、そんなことは行いません。その分野では実習あるのみです。運動がよくできる子なのに体育の評価が低いという理不尽なことが、今の小学校では起こっているようですが、ナンセンス
としか言いようがない。 (PB33_00032, 『教育再生！』)

(4) では、教育現場の現状に対する「ナンセンス」という筆者の意見が述べられている。これは筆者の主観的な色が強い。先行研究において、普通形になりやすいか否かで見解が分かれていたのは、この主張文である。

問題提起文、提示文、倒置文は、野田 (1998) では挙げられていない。問題提起文は疑問文の形で問題提起をする文、提示文は後に述べる事柄を名詞終止の形で提示する文、倒置文は前文にあるべき内容を倒置して示す文で、それぞれ (5) (6) (7) のような文を指す。

(5) 「軽く目をつむってくださいね」と、院長の高江洲薫先生が、優しく声をかけます。
目をつむるのは飼主です。そして、そこで何が起こるのか？ 心安らぐ音楽が流れてきました。 (PB26_00043, 『犬と話ができる！』)

(6) 「生ける化石」と呼ばれるカブトガニ。約三億年前に登場し、今日まで連綿と生きつづけてきた理由はいくつか考えられますが、その一つとして、カブトガニには目が四つついていることがあげられるでしょう。

(PB24_00012, 『鳥羽水族館館長のジョーク箱』)

(7) 私は、ぼったくられたに違いないと思ったのですが、別の生徒がそのわけを話してくれました。「でも、校庭でなぐられるよりましだよ」と。

(PB33_00018, 『義務教育という病い』)

このように、普通形になる文は七つの種類に分けることができる。しかし、これらの文がどの程度普通形になるかということは、使用される文章の性質によっても異なってくると考えられる。そこで次節では、文章の種類について検討する。

4.2. 文章の七つの種類

各作品を、延べ語数に占める普通形の文の割合順に見ていくと、内容におおよその傾向が見えてくる。そこで本発表では、どの程度普通形が使われているか、どのような内容の文章であるか、という二つの観点によって文章を分類し、以下に示すような七つのタイプ

に分けた。

4.2.1. 論説型

普通形の混用が特に多い作品を見ると、筆者が自身の意見を強く述べている内容であることが多い。本発表では、このような文章を「論説型」とする。論説型では、普通形の混用が多いことに加え、あらゆる種類の文が普通形になる。中でも特徴的なのは、以下のように主張文が普通形になる例が多く見られる点である。

- (8) もちろんここで、結論を出そうとは思いませんし、その力もありません。また、デジタル写真が新しいリアリティのあり方を実現するはずだ、と安易に考えているわけでもありません。が、少なくとも、デジタル写真を考えることが、これまでの写真のあり方を照射し、写真の別なあり方を示唆してくれるのではないか。

(PB47_00008, 『痕跡の論理』)

(8) では、筆者の主張が普通形の文で示されている。丁寧形基調の文章の中にこのような文が混ざるとは唐突に感じられるが、あえてこのように主張を示すことにより、筆者が自身の主張を強く提示することができると思われる。

4.2.2. 主観的マニュアル型

論説型に続き普通形が多い傾向のあるものとして、筆者の主観を交えつつ、何らかの具体的な手順を説明するといった文章が見られる。このような文章を「主観的マニュアル型」とする。このタイプの文章では、論説型と同様にあらゆる種類の文が普通形になるが、名詞終止の文が多いという特徴がある。以下は名詞終止の主張文の例である。

- (9) ダンベルを両手に持って、大きくゆっくり左右に振ります。腰から下を動かさないように固定して、筋肉への刺激を意識しながらしっかりひねること。

(PB15_00060, 『ダンベル体脂肪ダイエット』)

(9) のように、名詞で終わることによって、「～しなさい」や「～してください」といった命令形を使わずに、相手に指示を出す形となっている。「～しなさい」という形式よりもやわらかく、「～してください」という形式よりも親近感を感じさせることができるため、このような普通形が用いられていると考えられる。

4.2.3. 史録型

上記の二つの型ほどではないものの、比較的普通形の混用が多いものとして、歴史上の過去の出来事を述べる文章が見られる。このような文章を「史録型」とする。ここでは全体的に、筆者の主張を表す主張文よりも出来事を述べる事実文が多く、その事実文が普通形となっている例が主に見られる。以下の(10)のようなものである。

- (10) 源季房にしても最初はごく小さな政変のいざこざで負けたために丹波から播磨へやってきたわけですが、季房が許されて戻った後も二代目、三代目と播磨に続いていく。季房から数えて三代というのは、おそらく周囲が一度罪を犯した人だと見る間は中央には居場所がなかっただろうと思います。(PB12_00008, 『赤松一族の盛衰』)

このように過去の出来事を普通形で記述することで、目の前でその出来事が起きているような臨場感を与えることができると考えられる。

4.2.4. 主観的解説型

上記の3種ほど普通形が目立つ印象ではないものの、時折普通形の混用が見られるという作品も多い。その中に多いものとして、医療、法律、教育など、専門的かつ生活に身近なテーマについて、筆者の主観を交えて解説する文章が挙げられる。筆者の体験談や意見が入ることが多いため、このような文章を「主観的解説型」とする。このタイプで普通形になりやすいのは、(11)のような従属文や、(12)のような名詞で終わる事実文である。

(11) 指導者として、アナタの心の支えになりたいー。それが心からの私の願いなのです。
(PB47_00112, 『ソフトテニス入門』)

(12) 「どうしてそんなことわかるのですか」「だって、あの子がそう言っていましたから」
私が動物とのコミュニケーションに興味を持ったのは、そんな会話がきっかけでした。「あの子がそう言っていましたから」と、こともなげに言っている高江洲先生。
(PB26_00043, 『犬と話ができる!』)

従属文はもともと普通形になりやすいため、普通形になっても唐突な印象にはなりにくい。また、事実文も(12)のように名詞で終わる形であれば、通常の普通形の場合と比べてやわらかい印象となる。このように、主観的解説型では普通形の混用はある程度見られるものの、強い印象にはなりにくいという特徴がある。

4.2.5. 事典型

普通形の混用が時折見られる文章の中には、上記のような主観的なものの他、筆者の主観はあまり入らずに、動物や言葉やスポーツなどの実態を紹介するようなものがある。そのような文章を「事典型」とする。このタイプの文章では、(13)のような事実文と、

(14) のようにこれから述べる事柄を表す提示文が普通形になる例が主に見られる。

(13) 二千三年十一月の東京国際女子マラソンで高橋尚子選手がまさかの失速をした最大の原因は、食事管理の失敗にあると言われています。ハードなトレーニングを積みながらレース前の練習で好記録を出し、絶好調で大会に臨んだはずの高橋選手。しかし、レース時の体重は四十三キログラム。

(PB47_00018, 『本当にアテネということ』)

(14) 国際保護鳥で日本の特別天然記念物になっているトキ。日本のトキは「ニッポニア・ニッポン」という学名がついている固有のものです。キンというメス(三十四歳)が一羽になってしまっており、絶滅は時間の問題です。

(PB24_00012, 『鳥羽水族館館長のジョーク箱』)

これらはそれぞれ、事典における説明文と見出し語のような役割を果たしている。事典型に見られる普通形は名詞終止のものが多く、主観的解説型と同様に強い印象にはなりにくい。

4.2.6. 客観的解説型

以下に挙げる2種は、普通形の混用が特に少ないものである。まず、医療、法律、教育など、専門的かつ生活に身近なテーマについて、筆者の主観をあまり交えずに説明するというものが見られる。このような文章を「客観的解説型」とする。このタイプの文章は、過去の調査で明らかになったことや、他の人の言動など、主に事実をもとにして書かれている。普通形となるもののほとんどは、(15)のような従属文である。

- (15) 文明にかかわる悲劇性は人間存在に本来つきまとう不可避免的な運命である。そうだとすれば、この運命を呪ったり逃れたりするのではなく、これを正面から受け止めるなければならない。これがニーチェの命題でした。

(PB31_00060, 『「心のケア」を再考する』)

(15)は、筆者の意見ではなくニーチェの考えを示す従属文である。客観的解説型は、このような従属文以外は普通形になりやすく、全体的にやわらかい印象を与える文章となっている。

4.2.7. 客観的マニュアル型

普通形の混用が起こりにくいもう一つのタイプとして、機械の操作手順を説明するタイプの文章がある。筆者の主観がほぼ入らないため、これを「客観的マニュアル型」とする。このタイプの文章はほぼ普通形の混用が起こらないといって良く、今回の調査では(16)のような心情文を含む、わずか2例の混用が見られたのみであった。

- (16) チャンネルイコライザーはヴァージョン6の新機能で、過去のヴァージョンのイコライザーがリプレイスされたものですが、これがすごい。まず、アレンジウィンドウでオーディオトラックかオーディオインストのチャンネルストリップを見てください。

(PB47_00086, 『Logic 6 最初の一步』)

機械の操作手順は決まっており、筆者の主観が入る余地はほぼない。そのため、筆者の論が展開されることはなく、また何らかの表現効果が必要とされるわけでもない。したがって、普通形の混用が起こりにくいと考えられる。

5. 考察

以上の結果をもとに、文と文章の双方から見た普通形の現れ方をまとめつつ、普通形の文の機能、及び先行研究の見解の対立について検討する。

表1は文の七つの種類についてまとめたものである。先

表1 文の七つの種類

文の種類	内容	普通形の混用
従属文	内容的に他の文に従属している。	多い。
事実文	客観的な事実を述べる。	多い。
主張文	判断や意見を述べる。	やや少ない。
問題提起文	疑問文の形で問題提起する。	少ない。
提示文	後に述べる事柄を名詞終止の形で提示する。	少ない。
倒置文	前文にあるべき内容を倒置して示す。	少ない。
心情文	相手を意識せずに自分の心情を吐露する。	きわめて少ない。

行研究と同様に、文の種類ごとに普通形の混用の現れやすさに違いが見られることが確認できる。また、4節の内容から、普通形の文の機能を種類ごとに考察することができる。

文章の構造に関わる従属文、問題提起文、提示文、倒置文は、普通形になると読み手の足を一旦止めさせて注意を引く効果があると考えられる。筆者の主観的な要素が強い心情文と主張文は、普通形になると主観を強く示すことができる。客観的な内容を示す事実文は、普通形にすることで臨場感を演出できる。そして気軽な印象を与える名詞終止の文は、相手に親近感を与えるのに有効であると考えられる。

また、このような普通形の機能の違いが、文章の種類の違いにも反映されていると考える。そこで次に、文章の種類ごとのまとめを示す。表2は七つの文章の種類についてまとめたものである。混用の頻度の高さを5段階で示しており、★の数が多いものほど混用が起りやすいものとなっている。

表2 文章の七つの種類

文章の種類	内容	混用の頻度	混用の特徴
論説型	主張を強く述べる。	★★★★★	あらゆる文が普通形になり、主張文が普通形になる例も多く見られる。
主観的マニュアル型	主観を交えつつ、何らかの具体的な手順を説明する。	★★★★★	あらゆる文が普通形になるが、名詞終止の場合が多い。
史録型	歴史上の過去の出来事を述べる。	★★★★	主に事実文が普通形になる。
主観的解説型	専門的かつ生活に身近なテーマについて、主観を交えつつ解説する。	★★★	普通形になる例としては、従属文や名詞で終わる事実文などがある。
事典型	動物や言葉やスポーツなどの実態を紹介する。	★★★	普通形になる例としては、事実文や提示文などがある。
客観的解説型	専門的かつ生活に身近なテーマについて、主観をあまり交えずに解説する。	★★	普通形になる例のほとんどが従属文である。
客観的マニュアル型	機械の操作手順を説明する。	★	普通形の混用がほぼ起こらない。

分類名だけを見ると似通ったものが多いように見えるが、内容や普通形の混用の仕方を見ると、それぞれ異なった特徴を持っているといえる。筆者は伝えたい内容が効果的に伝わるように、どのような文をどの程度普通形とするのかを決めていると考えられる。

最後に、文と文章の種類双方から、普通形の文の現れ方を見る。それをまとめたものが表3である。従属文、事実文、主張文については、名詞終止の場合とそうでない場合とがあるため、前者を「名詞形」、後者を「通常形」として区別する。()内の数値は各種類の延べ語数に占める該当文数の割合を示しており、下線部は表2で言及した箇所を示している。

表3 文と文章の種類ごとの普通形の現れ方

文章の種類	延べ語数	普通形文末	心情文	従属文		事実文		主張文		問題提起文	提示文	倒置文
				通常形	名詞形	通常形	名詞形	通常形	名詞形			
論説型	39622	227 (57.3%)	0	104 (26.2%)	13 (3.3%)	26 (6.6%)	8 (2.0%)	<u>54 (13.6%)</u>	<u>4 (1.0%)</u>	5 (1.3%)	4 (1.0%)	9 (2.3%)
主観的マニュアル型	32710	162 (49.5%)	0	25 (7.6%)	<u>15 (4.6%)</u>	4 (1.2%)	<u>24 (7.3%)</u>	22 (6.7%)	<u>61 (18.6%)</u>	0	4 (1.2%)	7 (2.1%)
史録型	16340	57 (34.9%)	0	14 (8.6%)	2 (1.2%)	<u>23 (14.1%)</u>	<u>14 (8.6%)</u>	0	0	2 (1.2%)	0	2 (1.2%)
主観的解説型	16465	38 (23.1%)	0	<u>18 (10.9%)</u>	<u>2 (1.2%)</u>	1 (0.6%)	<u>9 (5.5%)</u>	5 (3.0%)	2 (1.2%)	0	1 (0.6%)	0
事典型	28544	60 (21.0%)	0	15 (5.3%)	9 (3.2%)	<u>2 (0.7%)</u>	<u>23 (8.1%)</u>	2 (0.7%)	0	0	<u>6 (2.1%)</u>	3 (1.1%)
客観的解説型	180933	54 (3.0%)	1 (0.1%)	<u>30 (1.7%)</u>	<u>7 (0.4%)</u>	2 (0.1%)	5 (0.3%)	0	0	1 (0.1%)	0	8 (0.4%)
客観的マニュアル型	32419	2 (0.6%)	1 (0.3%)	0	0	0	1 (0.3%)	0	0	0	0	0

このように文と文章の双方から見ることで、先行研究で見解が分かれていた点につ

いても説明がつく。先行研究では、判断や意見を表す文、すなわち主張文について、普通形になりやすいか否かの見解が分かれていた。表3を見ると、主張文は論説型や主観的マニユアル型ではある程度普通形になっている例が見られるが、他のタイプの文章ではあまり見られないことが分かる。したがって、どのような文章を対象としていたかによって、先行研究での見解が分かれたと考えられる。つまり、同じ性質の文であっても、文章の性質によって普通形になるか否かの振る舞いが異なってくるといえる。

6. おわりに

本発表では、文と文章の種類に着目して普通形の現れ方を考察し、双方から併せて見ることが有効であることを示した。今回の調査は、丁寧形と普通形の使い分けについて、日本語学習者にどのように説明できるかということを検討するためのものでもある。今後、この結果を精査し、書きたい文章に合わせた普通形の使い方を知るためのヒントを示すことができればと考える。

調査資料

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（中納言 2.4.5, データバージョン 2020.02）<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>（2020年8月確認）

参考文献

- 石黒圭（2006）「日本語学者の文章表現講座 第五回「です・ます形」と「だ・である形」の共存」『本が好き！』November 2006 vol.5 光文社 pp.41-47
- 熊谷滋子（2001）「新聞投書に見る文体の効果—「ですます体」と「非ですます体」の混用を通して—」『人文論集』52-1 静岡大学人文学部 pp.273-286
- 黒木晶子（2006）「日本語母語話者が書いた小論文に関する一考察—丁寧体と普通体の混用についての分析を中心に—」『文教国語学』50 広島文教女子大学国文学会 pp.65-78
- 中村重穂（2011）「文体混用に関する一考察—「だ・である」体の「です・ます」体への混用について—」『北海道大学留学生センター紀要』15 北海道大学国際本部留学生センター pp.20-39
- 野田尚史（1998）「「ていねいさ」からみた文章・談話の構造」『国語学』194 国語学会 pp.89-102
- メイナード・K・泉子（1991）「文体の意味—ダ体とデスマス体の混用について—」『言語』20-2 大修館書店 pp.75-80

『理工学系話し言葉コーパス』における受身表現の出現傾向

おか ようこ (東京大学)・すがや ゆうこ (東京大学)・えんどう なおこ (広島工業大学)・
しらとり ともみ (横浜国立大学)・もりさち ぼ (青山学院大学)・いとう なつみ (東京農工大学)

1. はじめに

受身表現は、初級後半レベルにおいて学習する項目ではあるものの、学習者がそれを自在に産出するには時間がかかる。先行研究においても、使用頻度を考慮して、直接受身は作り方を初級で導入するが、実際の運用やその他の受身表現については中級以降にかけて段階的に導入することが提唱されている(田中 2005、横田 2011、庵 2012 など)。前田(2011)は、「受動表現をどのように教えるかは初級・中級文法教育の課題の一つである」と指摘し、シナリオのデータを対象に受身表現の使用実態調査を行い、単文・複文という観点から分析した。その結果、受身表現の 85%が複文の中で用いられていること、特に「ほめられてうれしくなった」のような「て」節の述語に受動表現が現れる場合が多かったことを指摘している。このように、より自然な例文を教育現場で提供するため、学習者の生活環境において必要な受け身表現の使用実態を調査することは、有意義であると考えられる。

本調査では、理工系研究科における口頭発表およびゼミでの発表や質疑応答から収録した「理工学系話し言葉コーパス」を用いることにより、ゼミの発表や質疑応答など「アカデミックなコミュニケーションの場」において、どのように受身表現が出現しているのか分析する。特に、アカデミックなコミュニケーションに特徴的な受身表現とは何か、通常の初級教科書ではカバーできない表現はあるかという観点から、教育現場への応用を検討する。

2. 調査の概要

2.1 コーパスについて

「理工学系話し言葉コーパス」は、東京大学大学院の理工系7分野(電気系工学、都市環境工学、都市計画、建築学、社会基盤学、化学システム工学、情報理工学系・電子情報学)の研究室の口頭発表およびゼミでの発表や質疑応答から収録した延べ形態素数約 180 万からなるが(菅谷他 2019)、本調査においては7分野のうち「都市環境工学」コーパス(以下、「コーパス」)の形態素数 215,837 を調査の対象とした。都市環境工学とは、持続可能な都市環境を創出するための技術やシステムの開発に取り組む研究分野である¹。

2.2 受身表現の分類

本調査においては、『現代日本語文法 2』に基づき、「動詞の語幹に『-(r)areru』という接辞を付加することによって、働きかけや作用、関係のあり方を受ける存在をガ格名詞

¹東京大学工学部都市工学科、東京大学大学院工学系研究科、都市工学専攻、都市環境工学専攻
ホームページ <http://www.env.t.u-tokyo.ac.jp/j/> 2020年9月8日時点アクセス

として表現するもの」を受身文として扱った。コーパスのデータから、「かれ」「がれ」「され」「ざれ」「たれ」「なれ」「ばれ」「まれ」「われ」「られ」と検索した語を抽出し、「尊敬」および明らかに「可能」「自発」「受身」と判定された語を除外した。さらに、「考えられる」「見られる」など、「可能」「自発」か「受身」かで判定が分かれる語については、別立てで検討することとし、それ以外の受身形と判定された 528 語が含まれる用例を抽出した。

これらの用例を、受身の用法と出現位置によって分類した。用法は、多くの初級日本語教科書に出てくる「直接受身」「間接受身」「持ち主の受身」「非情の受身」の 4 つに分けた²。

出現位置は、前田（2011）を参考に、「単文末」「複文末」「引用節末」「疑問節末」「連体節末」「連用節末」に分類した。判定に迷った例文を不明とした結果、出現位置の分析の対象となったのは 517 例である。それぞれの文類の例を表 1 に示す。

表 1 コーパス（「都市環境工学」）における受身表現の用法と出現位置の分類

用例	用法	出現位置
この F 特異 RNA フェージは、え、さらに、G1 から G4 の 4 つの血清型に、えー、 <u>分類</u> されます。	非情※	単文末
まず、ヘンリー定数の温度影響に関してなんですけど、(中略)ヘンリー定数は温度で変化をして、このような式で表されます。	非情	複文末
(前略)まあ、いろいろな微生物が <u>含まれているだろうと</u> 考えられています。	非情	引用節末
いや、そうですねって言われちゃうとさ、先生、 <u>なめられてるのか</u> と思っちゃうよ。	直接	疑問節末
ASPIRE も、えーと、締め切りは終わって、えーっと、提出はしているので、 <u>採択される</u> ことを願ってます。	持ち主	連体節末
(前略) cis-DCE については、左っ側の図にありますように、えっと、添加した後に、cis-DCE が <u>分解され</u> 、えっと、エチレンが出てくるような結果になりました。	非情	連用節末

※直接：直接受身、間接：間接受身、持ち主：持ち主の受身、非情：非情の受身

一つの文の中に、二つ以上の出現位置が見られた場合は、文の構造を見て、より大きな単位で捉えることにした。例えば、例 1)は、形式名詞「(～という)ところ」を伴うという名詞節が、「～です」に接続して文末に出現しているため、単文末として分類した。例 2)は、「言いさしの文」³と考えられるが、本稿では実質的に言い終わりの形と等価である

² 受身表現の分類には諸説ある。『現代日本語文法 2』では「直接受身」「間接受身」「持ち主の受身」の三種類に分類した上で、「直接受身」の中で、主語と能動主体が「有情物」か「無情物」か、その組み合わせ別に分類し、「無情物」が主語となる場合は主語の前景化、あるいは能動主体の背景化を動機としていると述べられている。益岡（1982）は、主語の前景化と背景化に注目して、「受影受動文」、「属性叙述受動文」、「降格受動文」に分類している。川村（2012）は受身文の下位分類として「対応する能動文の有無（直接受身か間接受身か）」、「主語が有情/非情」の二つの観点を紹介している。本研究においてはコーパスの特徴を洗い出すことを目的に、物が主語になる「非情の受身」を別に設けることとした。

³ 白川（1991）の言いさしの分類①「事情の説明」にあたる。

と考え、文末と判断した。

例 1) で、三番目には、大腸菌も検出されておるといところです。（単文末）

例 2) （前略）分からない、大体水温で上がって、冬、実験やったらうまくいかないって
いうのは、昔から言われたことで。（複文末）

3. 結果と考察

3.1 用法の分類の結果

受身表現を「直接受身」「間接受身」「持ち主の受身」「非情の受身」の4つに分類したものを表2に示す。

表2 受身表現の用法の分類の結果

	出現数	出現率
直接受身	23	4.4 %
間接受身	1	0.2 %
持ち主の受身	2	0.4 %
非情の受身	502	95.1 %
	528	100.0 %

用法分類においては、非情の受身が95.1%と圧倒的に多いこと、その他の受身はほとんど出現しないことが分かった。横田（2011）は会話コーパスと新書コーパス⁴における受影受身文・属性叙述受身文・降格受身文の出現率を比較して、会話コーパスでは受影受身が75.4%とも最も多かったのに対し、新書では降格受身文が99.1%出現していたことを報告している。本調査の分類は横田（2011）とは異なるので安易な比較はできないが、受影受身をいわゆる直接受身と間接受身と考えると、本調査においては4.7%と話し言葉ではありながら出現数が少ないことが分かる。また、非情の受身を降格受身文および属性叙述受身文と考えると、新書コーパスと近い値を示していることが分かる。すなわち、本調査で扱うコーパスにおける受身表現は、非情の受身が圧倒的に多く、その傾向は一般的な会話コーパスよりも新書コーパスに近いと言える。

3.2 出現位置の分類の結果

受身表現を出現位置別に分類した結果を表3に示す。

出現位置においては、連体節末、連用節末、複文末が多い一方で、単文末はほとんど出現しなかった。前田（2011）のシナリオ分析において、非文末が全体の4分の3を占めること、特に連用節での出現が半数を超えることが注目と述べられているが、本調査においては単文末のさらなる頻度の低さが指摘できる。

⁴ 横田（2011）では、会話コーパスとして『筑波大学砂川研究室話し言葉コーパス』、現代日本語研究会作成の『女性の言葉・職場編』『男性の言葉・職場編』、新書コーパスとして『CASTEL/J CD-ROM』より社会科学系新書および自然科学系新書各4冊を調査している。

表 3 受身表現の出現位置別の分類の結果

文 末	単文	①単文末	21	4.0%
	複文	②複文末	119	22.5%
非 文 末		③引用節末	12	2.3%
		④疑問節末	28	5.3%
		⑤連体節末	169	32.0%
		⑥連用節末	171	32.4%
			不明	8

以下に①～⑥の出現位置別の結果と考察を述べる。

3.2.1. ①単文末

単文の文末における受身表現は 21 例（4.0％）であった。

例 3) （前略）この中で、え、G2 型と G3 型は主にヒトふん便中から、G1 型と G4 型は主に動物ふん便中から検出されます。

例 4) で、このピコルナウイルス属に分類されております。

3.2.2. ②複文末

複文の文末に現れる例は 119 例（22.5％）あった。

例 5) この MRI に用いられる Gadolinium というのは、非常に安定な錯体として造影剤として使用されます。

例 6) で、これを見てもみますと、まあ、都市部の河川ですので、多くの試料で人為起源 Gadolinium が検出されました。

例 7) （前略）そういう文献は見つけていないんですけども、その一、ユーロピウムとか、その、ほかの文献とかについては、それは報告されています。

表 4 複文末におけるテンス・アスペクト形式

る	た	ている	ていた	て
26	24	67	1	1

前田(2011)では、「た」が最も多く、全体の半数以上を占めていたのに対し、本コーパスにおいては「～ている」が最も多い 67 例であった。アカデミックな口頭発表およびゼミでの発表や質疑応答においては、「～ている」というアスペクトの形式を用いて主語の状態を述べることが多いと考えられる。

3.2.3. 文末部分に見られた受身表現に後続する接続助詞および引用助詞

本稿では、「～て」「～ので」の接続助詞および「～と」の引用助詞が文末に出現した場合は言い終わりの文と考え、「文末」と判定した。

例 8) えーと、発生するメタンと二酸化炭素のうち、メタンのほとんどは気相に出てきて、えーっと、二酸化炭素は気・液・固相に分配されますので。

例 9) 何て言うか、元素ごとに並べた場合に、ほとんどクラプトンになるというのが、まあ、よく言われているんですけれど。

例 10) この下水処理場の、えー、最初、沈殿時というのは、晴天時に流入すると予想される最大下水量の 3 倍までが受け入れ可能となるように設計されておりまして。

例 11) (前略) まず気象庁の観測によると、その 14 日午後 2 時から、えー、15 日午前 1 時にかけて、えー、0.5 から 1.5mm/hour の降雨が観測されていると。

例 11) の「～と」の形の言いさしは、相手の発話を受けて発表者が事実確認をしていると考えられる⁵。例 10) の「～て」や例 11) の「～と」の表現は話し言葉に特徴的なものと考えられ、興味深いものであるが、その一方で、上級レベルの学習においても指導されることはなく、学習者にとっては意味が推測しにくい表現だと思われる。

3.2.4. ③引用節末

表 5 引用節の後に続く動詞(出現形)

動詞	出現数
思う	4
言う	4
予想する(予想される)	2
書く(書いてある)	1
考える(考えられている)	1

受身表現が 12 例抽出された。表 5 は、引用節の後に続く動詞の形をまとめたものである。後続動詞には、「思う」「予想する」のような思考動詞や「言う」「書く」などの表現に関する動詞が出現した。

例 12) おそらく、希釈されているんだと思っています。

3.2.5. ④疑問節末

表 6 疑問節の後に続く動詞(出現形)

動詞	出現数
分かる (分からない 6、《どれだけ》分かる 1)	7
考える	5
見る	2
実験とする	2
思う、書く、計算する、検討する、調べる、推定する、やる、理解する	各 1
不明	4

受身表現が 28 例抽出された。表 6 は、疑問節の後に続く動詞の形をまとめたものである。後続動詞には思考動詞や物事を検証する類の動詞(計算する、検討する、調べる...)が出現した。

⁵ 石黒(2015)によれば、引用助詞「と」は必ずしも高頻度で出てくる表現ではないが、引用表示機能・構造表示機能・文脈補填機能・談話境界機能の 4 種類の機能を持ち、講義の要所で使われる傾向がある。

例 13) 硫酸イオンの減少量は酢酸でも使われるかも知れないから、酢酸が
どれだけ使われたかが分かりませんと。

3.2.6. ⑤連体節末

連体節末に現れた例は 169 例である。それらを、被修飾名詞が例 14) のような実質名詞
 か例 15) のような形式名詞かによって分類した。先に述べたように、形式名詞に接続し述
 語化している場合は、単文末か複文末に分類した。結果を表 7 に示す。

表 7 連体節末に受身表現が現れる場合の被修飾名詞

実質名詞	形式名詞						
	こと	の	もの	ところ	とき	ほど	際
124	20	16	5	1	1	1	1

例 14) えー、こういった分解しやすい物質を、分解されにくい物質と組み合わせる
 ことで、えー、その汚染がどれだけ新しかったとか、ですね、(後略)

例 15) ASPIRE も、えーと、締め切りは終わって、えーっと、提出はしているので、
採択されることを願ってます。

前田 (2011) では、実質名詞と形式名詞の数が拮抗していたが、本調査においては、
 「データ」「濃度」「物質」「地点」などの実質名詞が 124 例 (72%) を占めている。

3.2.7. ⑥連用節末

連用節末に現れた受身表現は 171 例である。分類に迷った 8 例を除き、163 例を分類した。
 その結果を表 8 に示す。

表 8 受身表現が現れる連用節 (形式別)

て	46	ば	4
連用中止	26	ことから	4
ので	16	にも関わらず	3
が	13	のに	2
けれども (けど)	11	ところ	2
と	7	場合	2
ても	6	間に、時に、時は、とおりに、中、て	各 1
たら	5	から、まで、以来、際、ため、まで	
から	5	も	

「て」が 46 例 (26.9%) と最も多く、次に連用中止が 26 例 (15.2%) となっている。前
 田 (2011) においては「て」が 223 例のうち 102 例と半数近くを占めている一方、それ以
 外の表現はどれも 15 例 (6.7%) 以下であったことを考えると、「連用中止」の出現の多さ
 は本コーパスの特徴を表していると言えよう。連用中止は、初級というよりは中級レベル
 において導入されることが多いが、形自体は「ます形」に接続するため、もとの動詞の形
 が推測しやすい。連用中止は早い段階で教えることも有効であると考えられる。

4. 受身表現を含む「-(r)areru 述語文」に出現する動詞に関する分類

先に述べたように、本調査においては、自発か可能か受身か判断に迷ったもの（「られ」）は全て除いて分類した。「見られる」「考えられる」「得られる」などは、元データの前後の文脈を見ても、意味の区別が難しい場合があった。そのため、受身表現の範疇に限ることなく、「られ」で検索してヒットした動詞も含めて出現頻度を調査したもののうち、上位 10 位（11 語）を表 9 に示す。表 10 には、中俣（2014）で挙げられている BCCWJ および初級教科書で出現頻度の高い動詞を示す⁶。

表 9 「-(r)areru」述語文における出現頻度の高い動詞（本コーパス）

	動詞	チュウ太 級別 ⁷	使用 度数	使用率
1	考える	N4	103	14.1%
2	検出する	級外	77	10.5%
3	得る	N2N3	46	6.3%
4	言う	N5	41	5.6%
5	見る	N5	40	5.5%
6	使う	N5	24	3.3%
7	分解する	N2N3	19	2.6%
7	報告する	N2N3	19	2.6%
9	知る	N5	14	1.9%
10	する	N5	12	1.6%
10	含む	N2N3	12	1.6%

表 10 BCCWJ と初級教科書における出現頻度の高い動詞（中俣 2014:242 一部改）

順位	動詞	%	順位	動詞
1	言う	4.58%	22	開く
2	する	3.75%	72	立てる
3	行う	2.94%	124	押す
4	みる	2.25%	159	叱る
5	考える	2.01%	172	読む
6	思う	1.86%	212	ほめる
7	呼ぶ	1.66%	495	壊す
8	使う	1.06%	950	踏む
9	認める	0.99%	1,160	泣く
10	作る	0.88%	1,490	降る

※順位=BCCWJ の 16,868 動詞中の順位

※網掛け=複数の初級教科書に出現

例 16) (前略) よって、これら 2 組の浄水場はそれぞれ、えー、原水の水質が、えー、類似していると考えられます。

例 17) cis-DCE の脱塩素反応については、通常の、えっと、代謝反応によるもの以外に、共代謝と呼ばれる反応が、えっと、考えられております。

例 18) (前略) まあ、いろいろな微生物が含まれているだろうと考えられています。

例 19) だから、やっぱり、もちろんどんどん減ってるだろうと思うし、この C のうち、実際に分解をされてるのはほんの一部。

本コーパスにおいては、例 16) の「考えられる」が高頻度で出現した。中俣（2014）の会話コーパスにおいても 5 位に位置しているが、「考えられる」「思われる」は複数の初級

⁶中俣（2014）は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）と 7 つの初級教科書『みんなの日本語初級』『新文化日本語初級』『初級日本語』『日本語初級』『日本語初歩』『げんき』『Situational Functional Japanese』を調査対象としている。

⁷日本語読解学習支援システムリーディング チュウ太 <http://language.tiu.ac.jp/>
2020 年 9 月 12 日時点アクセス

教科書では扱われていないことが分かる。中俣（2014）は受動文と能動文では異なる意味になる動詞として「見られる」等を挙げているが、本コーパスでは「見られる」や「例 17）呼ばれる」が該当すると思われる。このような表現は、能動文との対応ではなく「フレーズ（中俣 2014）」として指導することが有効と考えられる。なお、本コーパスに特徴的な動詞として「例 3）例 6）検出される」「例 19）分解される」が出現している。

5. 教育現場への提言

アカデミックなコミュニケーションにおいて、以下のような傾向が見られた。

- ・モノが主語となる非情の受身が多い。
- ・文末は「～ている」の形が多い。
- ・連用節末に「て節」について「連用中止」が多い。
- ・複数の初級教科書で扱われていない動詞、能動態から受身表現の意味が推測しにくい動詞がある。このような動詞に関しては、受身の学習の枠を超えた「-(r)areru」という形での導入も可能であろう。

上記の特徴を鑑みて、初級教科書で取り上げられない、あるいはあまり扱われていない受身表現（モノを主語とした文型や、「言われる」「考えられる」などの動詞）を、学習者のニーズに応じて適宜取り入れていく必要がある。

（引用文献）

庵功雄(2012)「文法シラバス改訂のための一試案—ボイスの場合」『日本語/日本語教育研究』3,39-55.

石黒圭(2015)「大学講義の文末表現の機能—引用助詞「と」で終わる文を例に—」『一橋大学国際教育センター紀要』6, 17-29.

川村大(2012)『ラル形述語文の研究』くろしお出版

白川博之(1991)「「テ形」による言いさしの文について」『広島大学日本語教育学科紀要』(1), 39-48.

菅谷有子他(2019)「理工系留学生のための語彙・用例検索ツール『レインボー』完成版の公開—7分野への拡充および分野間共通の自立語の追加採録—」2019 年度日本語教育学会秋季大会予稿集, 288-293.

田中真理(2005)「学習者の習得を考慮した日本語教育文法」野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』63-72.くろしお出版

中俣尚己(2014)『日本語教育のための文法コロケーションハンドブック』くろしお出版

日本語記述文法研究会編(2009)『現代日本語文法 2』くろしお出版

前田直子(2011)「受動表現の指導と『拡大文型』の試み」『日本語/日本語教育研究』2,67-84

益岡隆志(1982)「日本語受動文の意味分析」『言語研究』89,48-64.

横田亜朱紗(2011)「コーパスを使用した受身文調査：受動化の意味による分類から」『国文目白』50,90-99

ナラ条件節の複文の「事实的条件文」を再考する

—文頭の「なら」の分析を手がかりに—

宮部 真由美 (国立国語研究所)

1. はじめに

この発表ではナラ条件節の複文のうち、いわゆる「事实的条件文」とよばれる複文について考察する。「事实的条件文」とは従属節に事実的なことがらがさしだされている複文で、(1)のように従属節に対話の相手の発話がとりあげられるような場合も含まれる。

(1) (理人がバイオリンを弾いている)

北河 「なあって できるんですか〜」

理人 「押さえてる指以外の力を 抜くんです」

也映子 「そおんなことは わかってるんですよ〜 わかってるんですよ〜」

理人 「わかってるなら やれ！」(G線上のあなたと私)

鈴木義和 (2015) では、従属節に事実的なことがらがさしだされている条件節の複文に関するこれまでの先行研究を概観したうえで、「話し手が前句で表されている内容の真偽が真であると知りながら、その真偽について言及しないものが事实的条件文である」(p.37)と述べている¹。そして、ナラ条件節の複文が「事实的条件文」となるのは「新規に獲得した情報について発言する」場合と「聞き手領域の情報を根拠にして発言する」場合であると述べる。

有田節子 (2007) は(1)のような文を「認識的条件文」とよぶ。有田節子 (2016) によると、認識的条件文とは「条件節事態が成立したかしなかったかが発話時点で定まっていて、話し手がそのどちら、つまり成立したのかしなかったのかを厳密には知らない状況で、その条件をもとにして自らの判断や態度を主節に表すような複文」(p.14)である。(1)以外にも(2)のような文が含まれる。

(2) (昨日ガンバ大阪の試合があったけれど、結果はどうだったんだろうか。)

もし、ガンバ大阪が勝った(ん)なら、J1 リーグに残留する可能性があるんだが。

(有田節子 2016:16 より引用)

鈴木義和 (2015) と有田節子 (2016) では共通点もあるが一致しないところもある。本発表では、「事实的条件文」の従属節にどのようなことがらをどのようなものとしてさしだすのかということを分析し、この複文がどのような複文であるか再考したい。そこで、まず文頭に現れる「なら」の文を分析し、「なら」がどのような役割を果たしているのかを確認し、そのうえで、ナラ条件節の複文について分析を行なうことにする。高橋太郎ほか(2005)によると、接続詞の「なら」は「まえの文の内容が、あとの文が成立するための条件やきっかけであることをあらわす」接続詞として分類されている。「条件やきっかけであることをあらわす」という点からはナラ条件節との関連がうかがえるだろう。

¹ 先行研究ではナラ条件節の複文は、蓮沼昭子 (1985) が「話し手はPを真の命題として設定する」(p.69)、益岡隆志 (1993) が「前件である事態が真であることを仮定し、それに基づいて後件で表現者の判断・態度を表明する」(p.13)と述べている。

2. 分析に用いる用例と分析の観点

文頭の「なら」²は、「じゃあ」や「だって」のような接続詞と同様、おもに話ことばに用いられる。用例を自然会話のコーパスで検索したが、十分な用例を採集することができなかった。そのため、シナリオの台詞、マンガの台詞、小説の会話文から採集した用例も分析対象とすることにした。ナラ条件節の複文の用例も同様である。

接続詞は「語形変化せず、独立語として文のはじめにおかれ、その文とまえの文とのいろいろな関係をしめす単語の種類である」(高橋太郎ほか 2005:163)。基本的には文と文を接続するが、そのほかにも節と節、単語と単語とを接続する場合もあり、さらに段落をうけて、あとの文や段落につなげたり、相手の文をうけとったりする場合もある。そこで、文頭の「なら」が、どのように文、あるいは内容をうけているのかという点から考察を進めていく。その際に、話し合いの場面であるか、独話の場面であるかを考える必要があるが、今回は話し合いの用例を分析する。

3. 文頭の「なら」について

3.1. 相手(聞き手)の発話との関係

(3)、(4)のように、相手の発言(波線部分)をうけて述べる場合に、文頭に「なら」が用いられている。(3)のように対話の双方が同調的な発話場面にも、(4)のように非同調的な発話場面にも用いられている。

(3) アヤメ「先輩」

椿 「な なに？」

アヤメ「昨日 松田先輩と椿先輩と一緒に居るところを見ました デートしてたんですか？」

椿 「まさか！ たまたま会っただけよ 誰があんな奴とデートなんか…」

アヤメ「そうですか なら よかったです」(アヤメくんののんびり肉食日誌)

(4) 晶 「何してんのって 聞いてんの!!」

黒沢「おっきい声 出すなよ みんながびっくりするだろ」

晶 「だったらちゃんと答えてよ！ 何してんの なんで 電話 出ないの!!」
(ダメな私に恋してください)

(5)のような用例も採集された。

(5) 教師「誰か 放課後残って 出席簿づくりしろ」「どーせ 立候補なんてねーだろうから 勝手に決めるぞ」「誰が いちばんイヤそーな顔かな？」

(みんなが困っている)

爽子「やります……………」

教師「なんだ つまんねーの」

風早(教師のことばにかぶせて)「あ なら 俺もやる」「ふたりでやったら あっとゆーまだし」³(君に届け)

(5)の場面は高校のホームルームの時間に教師が放課後にクラスの出席簿づくりをする

² 現時点では文頭の「だったら」も同じものとして考えている。

³ マンガの用例の場合、台詞の吹き出しが変わる場合、この例のようにカギカッコをわけて書く。

生徒を募っている場面である。教師は嫌そうな顔をしている生徒を指名しようとするが、爽子が「やります」と声をあげる。そして、それを聞いて、風早が「なら 俺もやる」と立候補するという場面である。爽子と風早の二人が対面で話している場面ではないが、話し合いの場面の参加者である爽子の発言を「なら」でうけるという点では(3)、(4)と同じである。(3)～(5)のいずれの例も相手の発言（波線部分）をうけて述べる発話の文頭に「なら」が用いられている。

3.2. 文頭の「なら」のはたらき

浜田麻里（1991）は、「なら」も含めた「「デハ」と類似の機能を持つ接続語」（以降、「デハ」系接続語とよぶ）を分析し、これらの語が用いられる文脈の特徴として、「「新しい情報の入力」があること」と「新しい知識と既存の知識の突き合せによって日常的な意味での「推論」が引き起こされていること」を指摘している（p.29）。そして、「デハ」系接続語の本質が「新しい情報を受け取った時に生起する推論に基づく積極的反応である」と述べている。この点を考えながら、文頭の「なら」のはたらきについてみていくことにする。

(6)は風早が連れてきた子犬について、爽子が風早に子犬とこれからも会いたいことを話している場面である。風早の「…なんだよ 犬だけ？ 俺は？」（点線部分）という発話に対して、爽子が「もちろん 風早くんも！ もちろん!!」（波線部分）と返答し、それをうけて「なら」が用いられている。

(6) 爽子「迷惑じゃなかったら」「また… 会わせてくれるかな！」

風早「…なんだよ 犬だけ？ 俺は？」

爽子「もちろん 風早くんも！ もちろん!!」

風早「なら オッケーーー!!」（君に届け）

破線部分の発話は、「なら」を用いる話し手によるものであり、(6)のような問いかけとなっている場合が多い。また、(7)のように、問いかけでない場合もある。(7)は質屋をしている志のぶのところに顕定がパールをもってきた場面で、志のぶが「売らないほうがいいよ」（破線部分）という、顕定が「行き遅れた長女が 家計が苦しいから 売ってくれって」（波線部分）と返答し、その発言をうけて「なら」が用いられている。

(7) 志のぶ「このパールは…」「売らないほうがいいよ」

顕定 「は？」「いや だから 命令だし 行き遅れた長女が 家計が苦しいから 売ってくれって」

志のぶ「なら なおさら!」「このパールは 何か女の人を輝かせてくれるというか…」「きっと その長女さんに いいはずだから」（七つ屋志のぶ宝石匣）

(6)、(7)の相手（聞き手）の発話内容は、「なら」につづく内容（二重下線）を発話する動機づけとなっているように見える。たとえば、(6)は、相手（爽子）が「もちろん 風早くんも！ もちろん!!」（波線部分）と発話したことが、「オッケーーー!!」（二重下線）という発話を引きだしている。仮に爽子が「（風早くんは必要なくて）犬だけでいいんだけど」と返答していたら、風早は「オッケーーー!!」とは返答しなかっただろう。このように、対話の相手（聞き手）がそのような発言をしたこと（発話内容）が、「なら」につづく発話の動機づけとなっているといえるだろう。このことは、「なら」を用いることで話し手の発話内容が相手（聞き手）の発話内容と関係があることを示しているともいえる。

先に述べた浜田麻里（1991）について考える。浜田麻里（1991）による「推論に基づく積極的反応」という記述から、「デハ」系接続語が推論を行なったということを明示的に示す語であると考えることができる。一方で、話し合いの場面とは、話し手と相手（聞き手）とがやりとりをしながら会話が進んでいくもので、通常、相手の発言に対して、適切な返答をするには、話し手はなんらかの推論をおこなっている。そのため、推論という説明では十分ではないだろう。ここまでの分析から、文頭の「なら」は、相手（聞き手）が発話した内容をうけていることを積極的に示し、話し手は「なら」を用いることで相手（聞き手）が発話した内容と関係があることを表わしていると考えたほうが適切である。たとえば、(8)の「なら」につづく発話は「なら」でうけた部分を動機づけとして述べられ、そうした発話が連鎖的にテンポよく繰り返されている。

(8) のだめ「お…」「お風呂かしてください…」

千秋 「はぁ？ なんで風呂!？」

のだめ「ガスが止められちゃって お風呂に入れないんですっ 仕送りあしたで払えないし…」

千秋 「だったら あしたまで がまんしろよ！ いつも入ってねーだろ!!」

のだめ「あたま かゆくてかゆくて もう 限界なんです!!」

千秋 「水で洗え!!」

のだめ「シャンプーもないんです」

千秋 「なら 石ケンで洗え!! オレを頼るな」(のだめカンタービレ)

3.3. 相手（聞き手）の発話がない場合

相手（聞き手）の発話がない場合にも、文頭に「なら」が用いられる。

(9) 練馬「とにかく！ これから殿太に結果を見に行くんだろ？」「なら さっさと出発しよーぜ！」(ヤンキー君とメガネちゃん)

(10) 鮎喰「最後に もう一つだけ 聞いてもいい？」

吉野「リカとのこと？ だったらちょっと 長くなるけど。」(響)

(9), (10)の「なら」に先行する発話（破線部分）は、話し手による対話の相手（聞き手）にむけた問いかける発言となっている。しかし、話し手は相手の応答を待たずに、自分の発言をつづけており、この発話の文頭に「なら」が用いられている。

(11)の破線部分の発話は明確な問いかけではないが、相手（聞き手）に確認要求的な発話をしている。

(11) 元カレ「ずっと駅で見かける綾華が好きで… でもオレなんかが声をかけられなくて それを友達に相談したら オレが からんでやるから それを助けるって」「…それにオレは 乗ったんだ」

綾華 「…でも」「そのあとの優しさは… 本当だったよね」「…だったら いいよ」「私との出会いとかはいい！ 今までどおり やっていこうよ」

(王様に捧ぐ薬指)

(9)～(11)の場面には対話の相手（聞き手）は存在している。話し手は相手（聞き手）が問いかけや確認要求に明確に答えていないものの、相手が同意・肯定したものとして、そ

れを「なら」でうけ、後ろの自分の発話へとつづけていると考えることができるだろう⁴。

以上 3.1～3.3 から、文頭の「なら」が相手（聞き手）の発話をうける接続詞であること、相手（聞き手）の発話の内容が話し手の発話内容の動機づけ、あるいは話し手の発話内容が相手の発話した内容と関係があることを示すものであるということがわかった。

3.4. 文頭の「なら」につづく文に表わされることがら

「なら」につづく文にどのような内容が表わされているかをみると、対話相手がいることから、その相手への命令、許可、念押し、問いかけなどが多くみられる。また、話し手の意志や宣言を述べたりしている。

また、不満や残念な気持ちを述べるようなものもみられた。(12)は「だったら」が相手（聞き手）の発話（波線部分）をうけて用いられているという点は、これまでの例と同様ある。「だったら」につづく発話（二重下線）は、現実には実現していないことがらをさしだし、話し手はそうではなかったことに不満を表わしている⁵。

(12) 直潔「曜太のこと 好きなんですね」「心配しなくても 曜太は二股とか できるような 器用な奴じゃないから！」

杏 「で…でもだったら 普通に話してくれればいいのに！」「私 ゆきさんに会いたっていったら 三神くん「関係ないから」って 言われたんですよ！」「ゆきさんが 男の子だったら…」「会わせてくれたって いいのに…」（一礼して、キス）

4. ナラ条件節の複文の「事実的条件文」の再考

4.1. ナラ条件節にさしだされることがら

(13)は相手（聞き手）が発話した内容をナラ条件節⁶に述べるものである。こうしたナラ条件節は文頭の「なら」と同様なものとして考えることができる。

(13) 再掲：（理人がバイオリンを弾いている）

北河 「なあって できるんですか～」

理人 「押さえてる指以外の力を 抜くんです」

也映子「そおんなことは わかってるんですよ～～ わかってるんですよ～～」

理人 「わかってるなら やれ！」（G線上のあなたと私）

「わかっているなら」を「なら」におきかえても不自然ではないように、相手（聞き手）の発話内容が、話し手の主節の「やれ！」という発話を引きだしている。

ナラ条件節がうけるのは相手の発話だけではない。(14)は話し合い場での相手の「はなす（発話する）」という行為をナラ条件節のことがらとしてさしだしている。相手（聞き手）の行為が、話し手の主節の「手ェ動かしな!!」という発話を引きだしている。

⁴ 同意・肯定の判断には相手の様子や否定の返答をしないことなども関係しているだろう。

⁵ 「たら、バ」の条件節の複文で表わされるいわゆる「反事実的条件文」とは、従属節に現実とは反対のことがらをさしだし述べる文である。ほとんどの場合、主節のことがらも現実とは反対のことがらとなる。ナラ条件節の複文に関しては、従属節は事実で、主節のみが現実とは反対のことがらをさしだす場合もある（蓮沼昭子 1985, 前田直子 2009）。

⁶ 「～であれば」や「～だったら」もナラ条件節と同類のものと現時点では考えておく。

(14) 品川 「つーか何で 俺こんなこと やってんだ!!」

花の祖母「口動かすなら 手エ動かしな!!」(ヤンキー君とメガネちゃん)

(15)では、筒井が居酒屋についたときにはすでに飲み会が開始されており、筒井はテーブルのうえに運ばれてきていたワインボトルをみて「ボトルで頼んであるなら」と発話している。つまり、発話場面におけるテーブルの状況をみて、それをナラ条件節のことがらとしてさしだしている。

(15) (3人で食事をしているところに、遅れてやってきた筒井にむかって)

高梨「とりあえず 筒井 なに飲むんだよ」

(テーブルの上には料理やワインボトルが置かれている)

筒井「ボトルで頼んであるなら それでいい」

高梨「すいませーん ワイングラス もうひとつ」(3D彼女)

(14)は相手の行為をさしだしており、(15)のナラ条件節は話し合い場の状況をさしだしている⁷。このようなナラ条件節は相手の発話内容ではないため、「なら」にかえることはできない。しかし、(13)、(14)、(15)に共通する点もある。それは話し合い場でとらえた(認知した)ことがらがさしだされていることである。そして、この話し合い場でとらえた(認知した)ことがらは、相手(聞き手)と関連のあることがら⁸や相手と共有できることがらである。なぜなら、(13)の主節には「やれ!」という命令が、(14)には「手エ動かしな!!」という命令が、(15)には「それでいい」という希望(あるいは許可)が、相手(聞き手)にむかって述べられており、このような発話の動機づけとなることがらがナラ条件節にさしだされている。そして、相手がこのナラ条件節のことがらを理解できなければ対話は成り立たないからである。ここでの分析から、次の2点がいえる。

(16)ナラ条件節にさしだされることがらは話し合いの場で話し手がとらえた(認知した)ことがらである。そのため、通常そのことがらは新情報・新規に獲得した情報である⁹。

(17)ナラ条件節のことがらは相手(聞き手)と関連のあるもの・共有できるものである。そのため、話し手に関すること、特に話し手の内面に関することなどは、通常、ナラ条件節にさしだすことはできない。

ナラ条件節にさしだされることがらについて、相手(聞き手)の発話や行為など話し手にむかってくるような場合は、そのことがらをうけてナラ条件節にさしだす。また、(15)のような話し合いの場の状況のように、話し手にむかってくるようなことがらではない場合は、話し手がそのことがらを取りあげてナラ条件節にさしだすといえるだろう。

主節には相手(聞き手)への命令、許可、念押し、問いかけ、また話し手の意志や宣言、また、不満や残念な気持ち¹⁰などを表わすことがらがさしだされている。つまり、ナラ条

⁷ 益岡隆志(1993)には、ナラ条件節にさしだされることがらは「相手からの情報の他に、発話場面の状況において観察される事態の場合がある」(p.12)と述べられている。

⁸ 網浜信乃(1990)、鈴木義和(2015)にも同様の指摘がある。

⁹ 事実(真)に関して、話し合いの場に存在することがらであるという点では事実(真)である。

¹⁰ 蓮沼昭子(1985)、前田直子(2009)に従属節は事実で、主節のみが現実とは反対のことがらをさしだすナラ条件節の複文の用例があがっている。

➤ 「東京へ来ていたのなら、教えてくれれば案内ぐらいしてあげたのにね」(蓮沼昭子 1985:72)

件節の複文は次のような文であるといえる。

(18) ナラ条件節の複文は、主節に相手（聞き手）への命令，許可，念押し，問いかけ，話し手の意志や宣言，また不満や残念な気持ちなどを表わす発話がなされており，話し手はその発話を話し合いの場でとらえた（認知した）ことがらをうけて／とりあげて，それを従属節に条件づけとしてさしだして述べる複文である。そのため，従属節のことがらは主節の発話の動機づけとなっている（条件づけの関係）。

ナラ条件節は，文頭の「なら」とは違い，相手（聞き手）の発話内容も含め言語化することで，話し合いの場でとらえた（認知した）ことがらを主節の発話内容を引きだすものとして従属節にさしだしているといえる。

(19)は，従属節と主節のことがらが「後一先」のようにみえるものである。しかし，(19)もここまでのナラ条件節の複文の用例と同様，話し手は「ただいま～～」と言って突然帰ってきた息子を出迎えており，従属節にさしだされていることがらは，話し合い場で話し手がとらえた（認知した）ことがらである。話し手が主節の発話の動機づけとなることがらがナラ条件節にさしだされている。

(19) 透「ただいま～～」

母「あら 透？ どうしたの 帰ってくるなら メールくらい しなさいよ～～」
(라이어×라이어)

(19)に関して，「ト，バ，タラ」の条件節の複文では，従属節のことがらが先に成立し，そのあとで主節のことがらが成立するという時間関係であり，従属節のことがらが先行して成立することが主節のことがらの成立の条件となっている。このような時間関係という観点をナラ条件節の複文にもあてはめようとする，ナラ条件節の複文をとらえることができなくなってしまう。うえで述べたように，ナラ条件節には，相手（聞き手）と関連のあることがら・共有できることがらを話し手はさしだしている。そして，そのことがらは話し合いの場から得られるものであり，そこから話し手が従属節にとりあげている。(19)の「帰ってくる」ということがらは未来時のこととしてではなく，話し合いの場のことがらなのである。

話し合いの場からとりあげるといふ点からは，「選択」性や「とりたて」性という特徴を生じさせる。また，とりあげた新情報を従属節にさしだすということからは「提題」性といった特徴を生じさせやすいだろう。特に，こうした特徴は(20)，(21)のように名詞に「なら」がくつつく際に顕著だといえる。

(20) (急に壁ドンしてきたに海に対して)

リコ「せまるなら もっとかわいい子 えらべよバカ!!!」

海 「はあ!? 何 自意識過剰なこと 言ってるんだ!？」

リコ「女ならだれでもいいのか この万年発情男!!」

海 「なんだとー!？」(ハツ＊ハル)

(21) (富子が祖母から伝わる真珠のネックレスを宝石店の外商に売ろうとしている)

富子「だから そんなの いらないって 言ってるでしょう」「私は もう 結

➤ 「いいお店ですね。ちっとも知りませんでした。明子さんのお店なら，是非，オープンの時に伺いましたのに…」(前田直子 2009:46)

婚する つもりはないから！ 男なんて こりごり」

母 「富子…！」

富子「真珠なら 今どきの普通の セットを持ってるし」「そんな派手で 古く
さいデザインの ネックレス… 今どきしないわよ」(七つ屋志のぶ宝石匣)

また、このときにそれ以外のことがらとの「対比」性を感じさせることもある。(22)の千秋は自分と考えの違う桜と野田にむかって「オレだったら」と話している。

(22) (オーケストラの練習に来ない桜の理由を聞いて)

千秋「…じゃあ やめたら？ 大学」

野田「なんで そーなるんですかー!!」

千秋「だって 学費のために 練習するヒマもないんだったら 大学に行く意味
あんのか？」

野田「ありますよ！ 恋とか 出会いとか ときめきが」

千秋「オレだったら 大学行かないで 練習するけどな」(のだめカンタービレ)

5. おわりに

文頭の「なら」の分析をとおして、いわゆる「事実的条件文」とされるナラ条件節の複文についてみてきた。可能性を述べる条件節の複文とは異なり、本稿で扱ったナラ条件節の複文は、(18)で述べた特徴をもつ複文であることがわかった。

さらに、分析では従属節にさしだされることがらが話し合いの場に存在することがらであり、相手（聞き手）と関連のあるもの・共有できるものであることを示した。それが相手と関連のないことがら・共有できないことがらであったり、実現していることの判断が難しかったり、あるいはその場に存在しないことがらをさしだすようになると、可能性を述べる複文へと移っていくのではないだろうか。また、相手への配慮ということが仮定の形式と関係していると思われる。今後はナラ条件節が「仮定条件」を表わす場合も分析し、仮定性との関係について考えることにしたい。

参考文献

- 網浜信乃 (1990)「条件節と理由節：ナラとカラの対比を中心に」『待兼山論叢・日本学篇』
24, pp.19-38, 大阪大学.
- 有田節子 (2007)『日本語条件文と時制節性』くろしお出版.
- 有田節子 (2016)「日本語教育における(ノ)ナラ条件文の扱いについて：認識的条件文の重要性」*Studies in language science* 6, pp.13-23, 立命館大学大学院言語教育情報研究科.
- 鈴木義和 (2015)「事実的条件文について」『神戸大学文学部紀要』42, pp.27-46, 神戸大学.
- 高橋太郎, 金子尚一, 金田章宏, 齋美智子, 鈴木泰, 須田淳一, 松本泰丈 (2005)『日本語の文法』ひつじ書房.
- 蓮沼昭子 (1985)「「ナラ」と「トスレバ」」『日本語教育』56, pp.65-78, 日本語教育学会.
- 浜田麻里 (1991)「「デハ」の機能:推論と接続語」『阪大日本語研究』3, pp.25-44, 大阪大学.
- 前田直子 (2009)『日本語の複文—条件文と原因・理由文の記述的研究—』くろしお出版.
- 益岡隆志 (1993)「日本語の条件表現について」pp.1-20, 益岡隆志編『日本語の条件表現』くろしお出版.